

社会科（地図）調査資料 作成の観点

書名	<div style="font-size: 2em; letter-spacing: 1em;">○○○○ ○○○○○</div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
項目		
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○地図の見方や地図帳の索引の引き方、統計資料の活用の仕方など、地図帳を自由に活用できる知識や技能を身に付けることができるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○地図を効果的に活用して、位置や空間的な広がりに着目して社会的事象を捉える見方・考え方を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○地図帳を日常的に活用し、地図帳への親しみをもち、問題解決のための教材として効果的に活用する技能や意欲を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><地図・資料の特徴> ○基本図や資料図などは、それぞれ新しい信頼できる資料に基づいて作成され、社会的事象についての理解や思考を深めるために、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学び方や調べ方を身に付ける学習や、作業的で具体的な体験を伴う学習を促すために、資料はどのように提示されているか。</p> <p>○資料の取り上げ方は、児童の発達の段階を踏まえ、どのような配慮がなされているか。</p> <p>○索引など、活用を図るために、どのような配慮がなされているか。</p>	
表記・表現	<p>○児童の課題意識を高めるために、表記・表現はどうか。</p> <p>○児童が親しみ意欲的に活用するために、表記・表現はどうか。</p> <p>○色彩・配色を含め、土地利用の様子や等高線（高さ）などはどう表現されているか。</p> <p>○割り付けにはどのような配慮がなされているか。</p>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<h1>新しい地図帳</h1>	2 東 書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地図帳の使い方」では、地図記号や索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用といった基本的な地図の読み方が示されている。 ○地球儀について、実際に活用している場面の写真を使い説明されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻末の「日本の自然災害」で、過去に起こった災害について災害地図から位置や空間的な広がりに着目できるように工夫されている。地形や気候などとの関係から災害の起きる要因や防災対策などについて考え、判断できるように工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各図の着眼点や課題、ヒントなどの地図活用の手掛かりを、人物キャラクターが台詞で示し、児童が地域の特色に気付くことができるようにしている。 ○タブレットパソコンなどを用いて、学習を深められるようなクイズや資料などのコンテンツが入っている「Dマーク」が適所に設けられている。 <p>＜地図・資料の特徴＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国土地理院発行の100万分の1の地図をはじめ、資料図や統計についても最新データを収集して掲載している。 ○主な農林水産物や伝統工芸品、歴史の舞台、世界遺産、ラムサール条約や世界ジオパークの登録地などについて、個別の記号を設けて地図中に示されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○地図の成り立ちや地図帳の使い方に関する資料を載せ、地図帳導入期の指導に配慮して構成されている。 ○索引は、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、児童の発達の段階に応じた指導ができるよう赤、黒の2色で色分けして、チェック欄が設けられている。 ○統計資料は、都道府県と世界の国ごとに示され、地方・州別に色分けされている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各図の着眼点や課題などを、人物キャラクターの吹き出しで示されている。 ○陸の高さは5～10段階、海の深さは3～7段階で色分けし、大都市周辺の地図では土地利用の様子が8色で表現されている。 ○日本の地域地図では、その地図が全体のどの辺りなのかが示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「都道府県の区分」や「地図帳の使い方」があり、児童の発達の段階に応じた調べ方の指導ができるように工夫されている。 ○後半の資料ページでは、自然環境や産業、貿易、歴史、世界遺産、各種統計、自然災害などに関するコーナーが設けられている。 ○「Dマーク」を示し、インターネットを使った学習ができるよう工夫がされている。 ○歴史学習での活用のために、年表と世界の歴史地図が大きく掲載されている。 	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">楽しく学ぶ 小学生の地図帳</h1>	<div style="text-align: center;">46</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">帝 国</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地図帳の使い方」では、地図記号や陸の高さ、土地利用、索引、縮尺、地図の種類といった基本的な地図の読み方が示されている。 ○「地図のやくそく」では、「トライ！」という作業的な学習が設けられている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「日本の自然災害と防災」では、過去の主な自然災害を年表にまとめ、自然災害に備える防災・減災の取組や先人たちが残した教訓が掲載されている。児童が身を守るために何ができるか考えられるように、防災マップづくりの手順を示されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童が知的好奇心をもつような問いを設け、地図帳活用のスキルを身に付けることができるように、「地図マスターへの道」が全80か所設けられている。 ○タブレットパソコンなどを用いて、学習を深められるようなクイズや資料などのコンテンツが入っている二次元コードが適所に設けられている。 <p>＜地図・資料の特徴＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国土地理院発行の100万分の1の地図をはじめ、資料図や統計についても最新データを収集して掲載している。 ○主な農林水産物や世界遺産、ラムサール条約や世界ジオパークの登録地、貴重な動植物、天然記念物などについて、個別の記号を設けて地図中に示されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○地図の成り立ちや地図帳の使い方に関する資料、「地図のやくそく」を載せ、地図帳導入期の指導に配慮して構成されている。 ○索引は、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、赤、青、緑、黒の4色で色分けして表現されている。 ○統計資料は、都道府県と世界の国ごとに示され、地方・州別に色分けされている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各図の着眼点や課題などを、人物キャラクターの吹き出しで示されている。 ○陸の高さは3～6段階、海の深さは1～6段階で色分けし、大都市周辺の地図では土地利用の様子が8色で表現されている。 ○日本及び世界の地域地図では、その地図が全体のどの辺りなのかが示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「世界発見！」や巻末に「地図マスターへの道」を設け、児童が主体的に地図帳を活用したくなるように構成されている。 ○後半の資料ページでは、自然環境や自然災害、産業、貿易、観光、歴史、世界遺産、各種統計などに関するコーナーが設けられている。 ○インターネットを使った学習ができるように、QRコードが示されている。 ○児童の発達の段階に配慮し、広く見渡せる地図や大きなイラストが掲載されている。 	

社会科（地図） 調査資料 2

○内容別ページ数・地図数

内容	ページ数		地方・地域全体を表す地図の数		地方・地域の一部を表す地図の数		資料図の数		写真	
	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国
巻頭										
・ 地図、地図帳の使い方	12	15					16	25	0	7
・ 都道府県の学習	2	3	1	1	4	4	0	0	0	0
日本										
・ 全体	3	3	1	1	2	0	0	0	4	0
・ 九州地方	7	8	2	2	11	16	3	2	4	0
・ 中国地方	2	3.5	1	2	3	3	0	1	1	0
・ 四国地方	2	3.5	1	2	1	2	0	0	0	0
・ 近畿地方	6	9	1	2	5	6	0	0	3	2
・ 中部地方	6	7	1	2	3	3	1	1	0	0
・ 関東地方	7	10	1	2	5	7	2	0	2	0
・ 東北地方	3	5	1	1	1	2	0	1	0	0
・ 北海道地方	2	6	1	2	2	5	0	1	0	0
・ 日本とそのまわりの国	2	2	1	1	0	0	1	1	4	8
世界										
・ 世界と地球儀	2	2	1	1	0	2	1	4	8	4
・ 全体										
・ ユーラシア・北極	2		1		0		0		0	
・ アジア	2	3	1	2	0	0	0	0	0	3
・ アフリカ	2	1	1	1	0	0	5	0	4	2
・ ヨーロッパ、ロシア	2	3	1	2	0	0	0	0	8	3
・ 南北アメリカ	2	4	1	1	1	3	0	0	0	5
・ オセアニア	2	1	1	1	0	0	0	0	2	1
統計資料等										
・ 自然環境	2	4					9	20	0	0
・ 自然災害	3	4					3	11	7	11
・ 資源や産業	2	4					3	11	1	5
・ 貿易	2	2					3	8	1	1
・ 歴史	6	2					9	3	21	18
・ 日本の統計表	4	2	項目数		東書23		帝国57			
・ 世界の統計表	2	1	項目数		東書12		帝国8			
索引	10	9	総索引数		東書2654		帝国2529			
巻末(世界の国々)	3	3	1	2	1	1	0	0	0	0
総数	102	120	20	29	39	54	56	88	70	70

※ 2ページに4地方が渡っている場合は、0.5ページで加算する。

※ 「地方・地域全体を表す地図」の例としては、関東地方全体が示されている地図、アジア全体が示されている地図など。

※ 「地方・地域の一部を表す地図」の例としては、埼玉県の詳細地図、東京都中心部の詳細地図、アメリカ合衆国の詳細地図など。

※ 「資料図」は、主題図、(分布図、土地利用図など)、鳥瞰図、イラストマップ、断面図などとし、各地方の位置図、国旗、キャラクターなどは含めない。